

時代のうねりは、
つねに「周縁」からやってくる。

米窪明美

■著者プロフィール／学習院大学文学部国文学科卒業。
近代宮廷のシステムを具体的な儀式的作法から探り、
解明する研究が続いている。NHKドラマ『坂の上の雲』
において、宮廷関係の歴史考証に携わっている。

島津家の戦争

「都城島津家」
六五〇年の
歴史に封印された、
もう一つの日本史――。

関ヶ原の戦い、薩英戦争、戊辰戦争、
西南の役、日露戦争、そして第二次大戦。
日本史を、そして世界史を
変えてきた「武士の王国」の物語。



島津久寛

都城島津氏二十六代当主。
安政六年～明治十七年



島津久家

都城島津氏二十七代当主。男爵。陸軍少佐。明治十年～大正十一年

徳川幕藩体制の中で、いかに薩摩藩が特異な藩であったか――
そのことを端的に示しているのが、武士の数が桁外れに多いとい
う事実である……明治七年に行なわれた調査では、全国の士族
のうち十人に二人は鹿児島県士族であったという。幕末から明治
初年にかけて、鹿児島県は日本全体の兵力の十分の一を保有して
いたというわけである。

(本文より)

好評発売中! 定価1,785円(税込)
978-4-7976-7208-4 C0021

特別サイトまたはウェブ立ち読みコーナーで **お試し** いただけます!
http://www.shueisha-int.co.jp/wars_of_shimadzu/

8月27日 南日本新聞／全5段

サイズ385×171